



第2部門

『中山間地における地域社会の変容と子どもの生活 ～小海中学校区における調査から～』

(平成20年3月発行)

A4 130ページ

本書は、「第2部門 少年社会の健全育成」の研究の一環として、中山間地に視点をあて、子どもの生活の実態と体験型子ども活動プログラムについて研究した報告である。

目次

I 調査の目的・小海中学校区の概略と特性

岡崎友典(放送大学准教授, 学術フロンティア推進事業外部研究員)

1. 調査の目的と概要
2. 調査値の地域特性(産業構造/歴史/人口/その他)
3. 自由記述に見る親子の地域観

II 家族の現在と子どもへのまなざし

春日清孝(明治学院大学非常勤講師, 研究協力者)

1. 家族・親族の実態
2. 家族観・家族意識
3. 家族の地域参加
4. 親の言説から検討する子どもの生育環境としての地域の実状

III 地域共同体の変容と地域意識の変化

牧野修也(神奈川大学非常勤講師, 研究協力者)

1. 農村社会とは?
2. 中学生の地域社会に対する認識と評価
3. 将来の居住地の選択
4. 進路と職業選択
5. 親の意識と職業に収斂する教育意識

IV 住民の地域活動と地域認識—子どもの生育環境をめぐって—

1. 住民の地域活動の現状
2. 親による子育て環境としての地域評価(F・Aより)
3. 「子どもの遊び」と「自然」の抱えるアポリア
4. 子どもの遊び体験をいかに確保するか—子育て環境をつくるということ—

V 中学生の家族イメージと地域イメージ

—回答親群と無回答親群の子どもたちの違いはなぜ生ずるのか—

岩瀬章良(エルク・リサーチ・インターナショナル・カナダ, 研究協力者)

1. はじめに
2. 中学生の家族イメージ
3. 中学生の地域イメージ
4. 回答親群と無回答親群の子どもたちの違い
5. 考察
6. 結語

VI 中山間地における地域住民との関わりと中学生の生活

夏秋英房(元聖徳大学人文学部児童学科助教授)

元学術フロンティア推進事業研究員)

1. 中学生と地域の大人との関係
2. 地域住民から子どもへの誉める・叱る関わり
3. 地域住民との関わりと地域生活
4. 地域住民との関わりと地域観

VII 地域社会と道徳性の形成について

富江英俊(日本女子体育大学専任講師, 研究協力者)

VIII 付論：小海中学校区における山村留学事業について

岡崎友典(放送大学准教授, 学術フロンティア推進事業外部研究員)

竹内弘枝(元放送大学大学院修士課程修了生,

船橋市学童保育所指導員, 研究協力者)

資料